

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

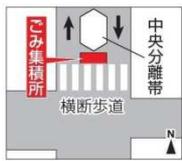
2021年9月16日朝刊



浜松市南区遠州浜地区で、市道交差点付近の中央分離帯に設置されたごみ集積所の移転先が決まらない。地元自治会は集積所近くで2月に交通死亡事故が発生したため、複数の移転候補地を選んだ。だが、整備費用の問題や利便性を求める住民への配慮などの事情で決定に至らなかった。交通死亡事故の危険性は依然高いままで、関係者は頭を悩ませている。

集積所は信号機のない交差点の中央分離帯であり、数十世帯が利用している。ごみを出す際は分離帯まで、数分の横断歩

14日前、浜松市南区遠州浜



危険なごみ集積所どこへ？

浜松の交差点中央分離帯 2月に死亡事故

①記事の「ごみ集積所」を移転させる必要があるのはなぜか。

(例)ごみ集積所が市道交差点付近の中央分離帯に設置されているため交通事故の危険性が高いから。

(例)ごみ集積所が市道交差点付近の中央分離帯に設置されていて、交通死亡事故が起きたため。

②移転先が決まらないのはなぜか。

(例)複数の移転候補地を選んだが、整備費用の問題や利便性を求める住民への配慮などの事情で決定していない。

移転先決まらず 悩む自治会

道を渡る。2月の死亡事故は、歩行者の男性が交差点を右折した乗用車と横断歩道付近で衝突した。男性は集積所にゴミを捨て、帰宅する途中だったとみられる。

事故後、遠州浜第3自治会は浜松東署から改善を促され、移転場所を探し始めた。水路に橋を架け、そこに集積所を設置する案を検討したが、予算の見積もりが数百万円に上ったために見送った。地元公園利用を市に相談したが、認められなかった。現在地から約300メートル南の海岸林の一角を使う計画は、住民から「今の集積所から離れすぎだ」との声が上がり、断念した。

遠州浜第3自治会小林睦夫会長(48)は「事故(浜松総局・柿田史雄)の危険を放置するわけにはいかず、引き続き住民の理解を求めていくしかない」と難しさをにじませる。

南区のごみ収集事業を管理する市南清掃事業所によると、集積所の設置申請は利用者が設置場所を決めた上で受け付ける。担当者は「清掃事業所としては申請された場所が基準に沿っているかを審査する。場所の仲介はしない」と説明する。

集積所を利用する地元男性80は交通量の多い朝の通勤時間帯を避けて「ごみを捨てるという。家の近くにごみ捨て場を置くのは誰だって嫌がる。今の場所ですでに事故に気を付けるしかないのでは」と話す。

③このゴミ集積所の問題について「あなたが考えた解決策」を60字以内で書きなさい(句読点を含む)。

(例)横断歩道の手前に交通事故発生地点の看板を立て、十分に気を付けて横断するように周知することで今の場所のままにする。(56字)

(例)現在地から少し遠くなるが、安全が第一と住民を説得し、約300メートル南の海岸林の一角を新たなごみ集積所にする。(55字)

(例)集積所にごみを出してよい時間帯を決め、必ず交通量の少ない時間帯に住民がごみ捨てるという約束の下、今のままの場所にする。(59字) など

年 組 名前